

新幹事寄稿

新幹事になって

嵯峨 勝

(昭和43年機械科卒)



昭和43年機械科卒業の嵯峨 勝です。依頼されたものの古稀を過ぎ、どの程度やれるかわかりませんが、体力、気力の続く限り頑張りたいと思います。

簡単に自己紹介をさせていただきます。昭和24年8月1日秋田市太平で生まれ、太平中学校を卒業しました。当時は、クマが出没し(たまたま)、魁新聞をにぎわしたこともあります。

機械科に入学し、その後の3年間は、可もなく不可もなく大きな問題も起こさず何とか卒業できました。就活は、席次優先で本人の希望、意見はあまり聞き入れてくれませんでした。

会社は、三井石油化学(現 三井化学)に決まりましたが業務内容についてはほとんど知らず、後の社員教育で詳細を知ることとなります。機械出身のため、保全部門(プラントの建設や増設及びメンテナンス)への配属でした。会社生活も極端な凹凸はなく63歳(年金が満額受領)でリタイアしました。比較的印象深い思い出としては、海外技術輸出ジョブのメンバーとして、ポーランド(ポリプロピレン)~プラント建設、タイ(ポリエチレン)~プラント保全を経験したことです。海外で生活することの不便さと、外から冷静に日本を眺め、改めて日本の良さを再確認できたことが唯一の収穫でした。



タイ赴任時代(中央)

趣味は、うまくならないゴルフ、登山です(今はめっきり少なくなりましたが中学時代母に、おにぎりを作ってもらいほぼ毎週一人で、太平山~1171mに登っていました)。

今後とも、どうぞ宜しくお願いします。

私自身、東京秋工会を知ったのは、同じ会社のI氏(S40工化)に誘われて参加したのが始まりです。確か2013年だと記憶しています。それまでは、この組織の存在は、まったく知りませんでした。総会/懇親会は、諸先輩方の威圧を感じながらも、伝統の重みがひしひしと伝わってきました。その風景を眺め感動すら覚えたものでした。



初参加紹介:右3人目(2013年総会)

今、当会が抱える大きな課題を挙げてみますと、①総会/懇親会への出席率の低下、特に若手層が鈍い。②会費未納者を抱え、財政の圧迫を招いている。これらについては、それぞれ対策をとっており効果は出てきていますが、まだ満足の行くところまでは到達していません。今後あらゆる可能性を探りながら、地道に進んでいかなければならないと考えます。

終わりに

何故、総会/懇親会への出席率が低いのか、それを考えてみると自分自身に置き換えてみると、本当に楽しんで過ごしているのだろうか甚だ疑問である。もしそうだとしたら、出席されている方々は、上辺だけは取り繕っても次回のリピーターと成り得るかは、まったく予測がつかないのではないかと思う。すなわち、楽しさと少しばかりの感動が必要なのではないだろうか。

今後の課題として、取り組んで行きたいと考えます。



応援歌指揮(2014年総会)



繋げる可能性。
未来のために。



株式会社 KM

代表取締役 伊藤幹夫 (昭和46年建築科卒)

バイリンガルプリスクール
「すくすくワールド」
www.sukusukuw.com

幼児から大人の英会話
「東京パスポート学院」
www.gakuin.co.jp

バイリンガルアフタースクール
「プラスアップ」
www.plusup-kids.com